

自己評価及び学校関係者評価 報告書

令和 4年 3月 31日

鹿児島県理容美容専門学校

目 次

【 1. 学校の教育目標 】	3
【 2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画 】	3
【 3. 評価項目の達成及び取組状況（基準1～基準10） 】	
基準1 教育理念・目的	4
1-1 学校の理念・目的・育人人材像はさだめられているのか	
1-2 学校における職業教育の特色は何か	
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
1-4 学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	
1-5 各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか	
基準2 学校運営	5
2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	
2-4 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
基準3 教育活動	6
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
3-2 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	

基準 4	学習成果	7
4-1	就職率の向上が図られているか	
4-2	資格取得率の向上が図られているか	
4-3	退学率の低減が図られているか	
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	
基準 5	学生支援	8
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	
5-3	学生に対する経済的な支店体制は整備されているか	
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	
5-7	保護者と適切に連携しているか	
5-8	卒業生の支援体制はあるか	
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
5-10	高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	
基準 6	教育環境	9
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
6-3	防災に対する体制は整備されているか	
基準 7	学生の受入れ募集	10
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	
基準 8	財務	11
8-1	中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか	
8-2	予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	
基準 9	法令等の遵守	11
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
9-4	自己評価結果を公開しているか	
基準10	社会貢献・地域貢献	12
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	

【 1. 学校の教育目標 】

鹿児島県理容美容専門学校は、「美・夢・無限」を学校理念に掲げ、「常に変遷する社会へ対応し創造性豊かに感性を磨き形にする美への追求・理容美容師を目指し自分の夢へ向かって日々の研鑽を怠らない忍耐・自分の持っている無限の可能性を信じる強さ」として体現させるべく教育理念へと示しております。

この基本理念は、学校の石碑にも刻まれており、教職員に対しては学則の附則に明記、周知し、学生に対しては入学時に配布する「生徒の心得」へ記載し、ホームルームや全校集会等で訓示として周知に努めています。学校の教育分野は、教育基本法及び学校教育法に沿って理容師法・美容師法に基づき学校運営を行っております。衛生管理の専門課程として理容美容分野の技術の向上、芸術的な表現と創造力、接遇マナーなど業界に必要なカリキュラムを取り入れ教育を展開しております。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により通常教育にも支障を来しておりますが、自宅待機中の時期でも学習の遅れが出ないよう動画やリモートの活用をして対策を講じております。今後、教育環境の変化も想定されますので本校独自の教育体制の見直しを図り時代に即した環境整備を整え、業界の後継者育成へと繋げるよう尽力していく

【 2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画 】

○ 理容師・美容師 国家資格試験の合格率100%の達成

国家資格を取得する事は、理容・美容の業界で仕事するための基本的な技術や知識であります。

それに合格しうる技術・知識を習得するために日々、徹底した指導を行い、対策を万全に講じた独自のカリキュラムを生徒一人ひとりに遅れが生じないよう、教員共々、一致団結して全員の合格を達成する。

○ 希望の進路就職 100%の達成

日々の学校生活において、理容・美容業界の即戦力としての技術や知識を学び日々研鑽を続け、職業人としての使命感を確立させるための指導を行うことは、2年間の中で一分たりとも無駄な授業はありません。まずは、無遅刻無欠席で出席させることで社会人としての心構えを付けさせていきます。また、当校の特色である東京研修での経験を生かしたクリエイティブな作品作りは、生徒個人の特色をアピールするためのツールであり、競争相手との差別化を図ることに繋がります。真に社会に役立つ人材を輩出することに重きを置き、希望の進路就職先へ合格させる。

○ 教育体制の充実

基礎的な技術と知識を学びながら国家資格を取得する事は勿論のこと、自らの個性に磨きをかけ、感受性・創造性を培うため、世界屈指のアーティストグループ「モンドアーティスト」との提携による東京研修プログラムを導入している。時代の最先端な技術を体験することで業界の幅の広さを学び生徒個人の大きな財産として経験をさせていく。技術面のほかにも基本的なマナーやビジネスマインドをしっかりと考えさせ社会人としての身構えや気構え、心構えを持った人材育成に繋がるよう指導を行う。また、新型コロナウイルス感染症の影響により教育環境の変化にも対応できるよう体制を整備する。

【 3. 評価項目の達成及び取組状況 】

基準 1 教育理念・目標

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
1-1.	学校の理念・目的・育成人材像はさだめられているのか (専門分野の特性が明確になっているか)	2.5
1-2.	学校における職業教育の特色は何か	3.0
1-3.	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.7
1-4.	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	2.1
1-5.	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.2

【課題と今後の改善策やご意見】

○モンドへの取組みなど業界のニーズに合った教育はできていると思う。

○理念の周知は入学式後のオリエンテーションにて周知を図る。

【学校関係者評価委員会コメント】

理念及び取組み大変素晴らしいと思う。

学生に対し社会に出てから求められる事がどういう事なのかを授業を通して伝えて頂きたい。

自分の目で見て生徒の真剣さを肌で感じ取ってもらいたい。

(2) . 学校運営

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
2-1.	目的等に沿った運営方針が策定されているか	1.6
2-2.	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	1.5
2-3.	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	1.6
2-4.	人事、給与に関する規定等は整備されているか	1.4
2-5.	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	1.4
2-6.	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	1.9
2-7.	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2.4
2-8.	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.0

【課題と今後の改善策やご意見】

○業務・雑務の効率化を図るべきではないか。

○職員個人ごとの業務量に差がある為、均等になるようにすべきである。

【学校関係者評価委員会コメント】

外部的には良好である。

管理職や職員がお互い理解しあってほしい。

組織の運営において、課題が多岐に巡ることが感じ取れる。

(3) . 教育活動

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
3-1.	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2.3
3-2.	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.5
3-3.	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.2
3-4.	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.7
3-5.	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.4
3-6.	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.8
3-7.	授業評価の実施・評価体制はあるか	1.8
3-8.	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	1.9
3-9.	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2.3
3-10.	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2.6
3-11.	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.3
3-12.	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.5
3-13.	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	1.9
3-14.	職員の能力開発のための研修等が行われているか	1.7

【課題と今後の改善策やご意見】

○成績（実技）の基準が各教員でムラがある。

【学校関係者評価委員会コメント】

業界の評判も良いと思う。

教育活動に関しては良好であるが、教員自身の研鑽やスキルアップの方策をしていかなければならない。

教員のスキルアップにも取り組む必要がある。

前年より評価が高い結果で素晴らしい。

(4) . 学修成果

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
4-1.	就職率の向上が図られているか	3.7
4-2.	資格取得率の向上が図られているか	3.2
4-3.	退学率の低減が図られているか	3.0
4-4.	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.5
4-5.	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.4

【課題と今後の改善策やご意見】

特になし

【学校関係者評価委員会コメント】

先生方の努力の成果が出てと思う。

就職、修業の意欲を伸ばす事は難しいですが、業界全体の課題である長期就業は学校教育と共に解決したい。

県内就職率の成果が高く県内企業との連携ができています。

おおむね良好に思えます。

(5) . 学生支援

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
5-1.	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.0
5-2.	学生相談に関する体制は整備されているか	2.9
5-3.	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.0
5-4.	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.5
5-5.	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.4
5-6.	学生の生活環境への支援は行われているか	2.7
5-7.	保護者と適切に連携しているか	2.5
5-8.	卒業生の支援体制はあるか	2.5
5-9.	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.5
5-10.	高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.5

【課題と今後の改善策やご意見】

○特に美容科において、同窓会組織があった方が良いと思う

【学校関係者評価委員会コメント】

外部的に良好と思う。

コロナ流行の中、大変だったと思います。評価も高めで良好だったと思う。

学生を支援することが今後の入学者を増やす一要因である。

学生が本校に入学して良かったと思えるように十分な支援をお願いしたい。

(6) . 教育環境

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
6-1.	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	1.4
6-2.	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.5
6-3.	防災に対する体制は整備されているか	2.2

【課題と今後の改善策やご意見】

○施設が老朽化してきており、修繕をしていかなければならない

【学校関係者評価委員会コメント】

施設、設備は早急な改善に努めて欲しい。

職員・生徒共により良い教育環境は非常に大切である。

設備は財務との関連で、どの設備から進めるべきかを話会う必要がある。

(7) . 学生の受入れ募集

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
7-1.	学生募集活動は、適正に行われているか	3.3
7-2.	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.2
7-3.	学納金は妥当なものとなっているか	3.0

【課題と今後の改善策やご意見】

○県外への活動において意見交換や改善策が必要に感じる

【学校関係者評価委員会コメント】

生徒募集に関わる経費の見直しが必要である。

必要・不必要経費の精査を徹底して頂くよう望みます。

募集活動の改善が今後の学校運営を決めると思うので良い方向に持って行って欲しい。

少子高齢化が進む現在において、広報活動の強化は必至である。将来の美容師人口の増減にも関する事項になる為、学校運営と生徒数確保の企画立案を図っていただきたい。

(8) . 財務

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
8-1.	中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか	1.7
8-2.	予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	1.8
8-3.	財務について会計監査が適正に行われているか	2.2
8-4.	財務情報公開の体制整備はできているか	2.1

【課題と今後の改善策やご意見】

○財務状況について教職員間にて共有していかなければならない。

【学校関係者評価委員会コメント】

健全な財務がある事を期待している。

予算、収支はコロナ、ウクライナの事案の発生もあることから慎重にすべき事柄ではないか。

組合加入の促進をするべきである。

(9) . 法令等の遵守

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
9-1.	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.5
9-2.	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.8
9-3.	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.5
9-4.	自己評価結果を公開しているか	3.3

【課題と今後の改善策やご意見】

○問題点の改善や職員の意見を反映する努力をしてもらいたい

【学校関係者評価委員会コメント】

改善の為の対策会議をして下さい。

法令等の遵守を図るよう徹底する。

(10) . 社会貢献・地域貢献

	評価項目 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)	評価
10-1.	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.3
10-2.	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.1
10-3.	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.0

【課題と今後の改善策やご意見】

○コロナ禍の為ボランティア等の活動は自粛していたが、今後、案内等は告知していきたい。

【学校関係者評価委員会コメント】

良好なので、更に推し進めていただきたい。

学生にとっては体験する事がとても大事だと思うのでコロナの状況を見た上で出来るようなら積極的に実施して欲しい。

今後も率先した地域ボランティア活動を行うことが重要である。

この様な観点から、社会貢献、地域貢献につながるボランティア活動を奨励し、講習会等に参加する機会を与えるべきではないか。

【課題と今後の改善策やご意見】